

平成28年度 建設常任委員会第3回管内視察の概要

■視察日 平成28年11月25日（金）

■視察者 建設常任委員（7名）
山口 裕（委員長）、田代国広（副委員長）、坂田孝志、西山宗孝
松村秀逸、山本伸裕、中村亮彦

■視察先 ①国道325号【阿蘇大橋・砂防】（阿蘇郡南阿蘇村）
②国道325号【阿蘇大橋架替え】（阿蘇郡南阿蘇村）
③村道栃の木～立野線【長陽大橋】（阿蘇郡南阿蘇村）
④白川【立野ダム建設予定地周辺】（阿蘇郡南阿蘇村）

■視察趣旨 熊本地震による被害が特に甚大であった阿蘇郡南阿蘇村立野地区において、国土交通省熊本河川国道事務所及び立野ダム工事事務所が直轄事業として代行している復旧工事の進捗状況等を確認するとともに、今後の委員会審議の参考とするため、視察を実施しました。

■視察の概要

①国道325号【阿蘇大橋・砂防】

土砂災害緊急対策工事に着手してから半年以上が経過し、この間、無人化機械による施工により、工事用道路の整備や土留盛土の設置等が行われてきました。

着手時は、阿蘇地域特有の土質である“黒ボク”への対応や、梅雨の長雨及び霧による視界不良など厳しい現場環境下での作業だったとのことでした。

また、現在は、滑落崖周辺の緊急性の高い不安定土砂の除去（ラウンディング）及び有人施工のための安全対策について、



年内完成をめどに進捗を図っているとの説明がありました。

②国道325号【阿蘇大橋架替え】

国道325号の阿蘇大橋については、現在の位置での再建が困難なことから、これまで専門家による「技術検討会」を設置し、架替え位置や橋の構造について検討が進められてきました。

その結果、現在よりも約600m下流の位置に、長陽大橋と同じ形式の「PC3径間連続ラーメン箱桁橋」を架替えることが決定したとの説明がありました。



③村道桁の木～立野線【長陽大橋】

長陽大橋を含む村道桁の木～立野線では、熊本地震により至る所で道路の決壊や法面崩壊などの甚大な被害が見られ、現場では、不安定土砂の撤去作業などが急ピッチで進められていました。

また、延長約3kmの復旧工事を代行している立野ダム工事事務所から、当該道路は、南阿蘇村を始めとする被災地への医療や教育といった生活基盤を支える重要な道路であることから、早期復旧に全力で取り組んでいるとの説明がありました。



④白川【立野ダム建設予定地周辺】

立野ダム工事事務所の説明によると、ダム建設予定地では、熊本地震により、表層の土砂や石のはがれ落ちはあるものの、大規模な崩落は発生していないとのことでした。

しかし、その後の出水により仮排水路トンネルや工事用道路及び仮橋が被災したため、現場では、再架設された工事用仮橋を活用しながら、周辺の復旧工事が進められていました。

また、立野ダム工事事務所から、立野ダムの目的や機能など立野ダムの概要についても説明がありました。

